おまえざきのきらり輝く人

「御前崎出身の人間らしい熱」を音楽で届ける

ZEZT（ゼスト）



― PROFILE ―

兄・SHIN㊧と弟・KOU㊨（新野東）
休日は、兄弟でドラマや映画の観賞をしてインスピレーションや刺激を受けている。
有観客ライブと並行して、SNSでの配信活動にも力を入れる。

「歌好き兄弟」として活動する音楽ユニット・ＺＥＺＴ。地元・御前崎での活動を原点に、音楽を追求し続ける彼ら。夢を叶えるまでの歩みや挑戦を重ねる姿に迫った。

夢から始まった兄弟の活動

音楽活動に興味を持っていた兄・ＳＨＩＮさんは、現在所属する事務所のオーディションで優勝したことをきっかけに、1人で活動を開始。その姿に影響を受けた弟・ＫＯＵさんも音楽活動を始め、兄弟ユニットとして歩み始めた。「ＺＥＺＴ」という名前には、「熱意・情熱」を意味する英語「ＺＥＳＴ」を基に、応援してくれるファンと同じ方向を向いて歩むという思いが込められている。

活動を始めた当初は、ＳＮＳ投稿に力を入れていた2人。マリンパーク御前崎やあらさわふる里公園など市内各所で動画を撮影していた。訪れた人に自分たちの曲を披露したり、三線を演奏する人と出会い、一緒に音楽を奏でたりすることもあったという。「御前崎のいろいろな場所を巡る中で、温かい声をたくさんもらった。見守ってもらえたことが今の自分たちの活動につながっている」と当時を振り返る。

挫折を糧に次のステージへ

ＺＥＺＴが大切にしているのは、自分たちが主役になることではない。作品やパフォーマンスを見てくれる人や聴いてくれる人の力になれる時間や空間をつくるということ。

その思いを胸に活動を続け、2023年に実施された初の単独公演では、チケットを見事完売させた。ステージから見た景色は勇気がもらえるものだったと話す。

2025年には大阪から埼玉までのショッピングモール10カ所でイベントを実施するが、集客の難しさを痛感。自分たちの課題と向き合うことになった。しかし、何を改善すべきかを考える機会となり、自分たちの成長につながったと振り返る。

「一歩を踏み出せない時、自分たちが何度も失敗をしながらも挑戦する姿をみて自分も頑張ろうと思ってもらえるようなアーティストになりたい」と話す2人。楽曲制作も舞台も全力で挑む彼らは今日も挑戦を続ける。